

令和7年度俳人協会鹿児島支部
桜島俳句大会事前募集句成績

〔事前募集句〕

大会賞

熔岩垣に乾ぶ農衣や月涼し

山口 雄二

準大会賞

島噴くや地に腹這ひて藎を植う

中橋 藤七

鹿児島県俳人協会賞

風死すや熔岩剥き出しの舟溜

濱田 彰典

優秀賞

一位 熔岩陰に朽ちる牛舎や花馬酔木

山口 雄二

二位 冬瓜の不貞寝してゐる海士の庭

寶來喜代子

三位 島大根地熱もろとも引きにけり

寶來喜代子

四位 カンナ炎ゆ火山灰の層なす火の記憶

山口 雄二

五位 落花生干して音なき蛩の路地

中間 恵子

六位 どの窓も桜島据ゑ夏座敷

上坪 満代

七位 火山灰ふるや晩夏の眉を引き直す

西田まり子

八位 巢燕のこゑする火山退避壕

中間 恵子

九位 枇杷たわわ二十歳で島に嫁ぎ来て

山口 雄二

十位 熔岩垣に風穴あまた瑠璃蜥蜴

折田 幸弘

選者特選（特別選者以外五十音）

小島健選

島噴くや地に腹這ひて藎を植う

中橋 藤七

徳田千鶴子選

熔岩黒く冷ゆる歲月花すすき

五反田秋夫

大川畑光詳選

火を噴いて山生きんとす椿の実

藤元 睦子

折田 幸弘選

噴石は地球の欠片蟻地獄

藺 孝湖

中橋 藤七選

枇杷たわわ二十歳で島に嫁ぎ来て

山口 雄二

中間 恵子選

島噴くや地に腹這ひて藎を植う

中橋 藤七

長柄 英男選

登頂は高一の夏桜島

池田 章

淵脇 護選

高椰子に風の音聞く晩夏かな

中間 秀幸

寶來喜代子選

巢燕のこゑする火山退避壕

中間 恵子

山下 雅司選

月読の龍頭の水の澄めりけり

木村 いく

山之内赫子選

熔岩垣に乾ぶ農衣や月涼し

山口 雄二

和田 洋文選

熔岩垣に乾ぶ農衣や月涼し

山口 雄二

〈吟行会〉

大会賞

小川 莎良

南日本新聞社賞

濱田 彰典

優秀賞

一天の雲を払ひて火山澄む
初鵬や誰とも会はぬ島の路地

1位
2位
3位
4位
5位
6位
7位
8位
9位

八十年閉ざす基地跡草の花
大根播く荒地を拓く鋏さばき
火の島に詩魂宿るや秋の風
鍵持たぬ島の暮らしたる秋燕頭
島の空知り尽したる秋燕
小鳥来るベンチの並ぶ退避壕
熔岩原にいのち犇きバッタ飛ぶ
吊し干す章魚を秋風廻しをり
通草蔓引いて日の斑を散らしけり

中村池塘子
假屋貞二
山下雅司
馬場奈穂子
桂豊子
森重代
窪昌子
山之内赫子
窪見れい

選者特選

大川畑光詳選
折田幸弘選
中橋藤七選
中間恵子選
長柄英男選
淵脇護選
寶來喜代子選
山下雅司選
山之内赫子選
和田洋文選

熔岩原にいのち犇きバッタ飛ぶ
火の島へ錦の投網大花火
大根播く荒地を拓く鋏さばき
島の空知り尽したる秋燕
小鳥来るベンチの並ぶ退避壕
一天の雲を払ひて火山澄む
一天の雲を払ひて火山澄む
大根播く荒地を拓く鋏さばき
狸豆黄金に咲ける溶岩畑
火の島に詩魂宿るや秋の風

窪園真昌子
前屋貞二
假屋豊子
桂重代
森重良
小川莎良
小川莎良
假屋貞二
馬場奈穂子
山下雅司